

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

No.12 (1983~1984)

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第56回例会 昭和58年9月20日(火)晴

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 48名 出席 35名
出席率 74.47%

◇前回 9月13日(修正出席率) 97.87%

make up

青山君(9/14和合), 安藤君(9/19空港), 浜口君(9/8東南), 林君(9/19空港), 石田君(9/9港), 河合君(9/14名北), 松居君(9/20名東), 水野(賀)君(9/14和合), 成田君(9/19空港), 新美君(9/8東南), 菅原君(9/9北), 鈴木(正)君(9/9港), 谷口君(9/17守山), 鶴飼君(9/17守山)

◇ビジター紹介 8名

◇誕生日祝福

林君(9/17), 古川君(9/21), 大口君(9/26)

◇ニコボックス

菅原君(「とろいことやとるな」出版されましたのでよろしく), 新美君(先週ホームクラブ欠席しましたので), 林君(誕生祝), 古川君(誕生祝), 大口君(誕生祝)

◇三輪幹事報告

1. 本日例会終了後, クラブアセンブリーを行いますので理事役員・各委員長の方々は2F梅の間にお集り下さい。
2. 次回例会終了後, 理事会を行いますので理事役員の方は2F橋の間にお集り下さい
3. 第270地区福岡北RCの認証状伝達式のご案内が来ております。参加希望者は事務局までお申し出下さい。

◇菊池社会奉仕委員長報告

明日21日の「秋の交通安全県民運動」もおかげさまで会員48名中30名の出席予定をいただきました。御都合の悪い方の中でも代理を出せる方がおいでになりましたらよろしくお願いたします。なお帽子とタスキを着用して頂きますのでお忘れなく持参下さい。

◇竹内会長挨拶

本日は田中分区代理をお迎えしての第56回例会であります。

先日, share Rotaryに関連して鈴木君が増強委員長案として当クラブを5つのチームに分けて適当な方を1名御推挙頂くという考えで御説明頂きましたが, その後この件は各チームで進展して居りますでしょうか。未だこのチームは早々に連絡をお取り頂いてこの運動をお進め頂きたいと存じます。又職業分類の立場から加藤君より未充填の分野を列挙して頂きましたので特にこの分野での恰好の人材を考慮して頂けたら何よりに存じます。

未充填の中にマスコミ, 特に放送がありません。外交官とマスコミにはテリトリーの制約がありませんので, 周辺にお近づきがありましたら格段の御配慮願いたいものです。

又々『ロータリーの友』で恐縮ですが, さる地区のガバナーが南山大師の語録から「先人の跡を求めず, 先人の求めしものを求む」を引用して居られました。人間は人真似と先達の教訓とによって生長して参りますが, 人真似も教訓も中々に大変であります。真似をしたつもりが『鶴の真似をする鳥』になったり, 先達の教訓も我流にのみこんで「あれをごらん」と『指差す先の月をみようとせず, 指先ばかり見つめている』といった具合であります。

最近の社会は複雑にして多岐に涉ります。大韓航空機の件にしても事実は霧の中で, 只航空機がミサイルで撃破された事実のみとり上げて是非論をぶっている様子です。その背景こそが問題なのですが, 国家機密のベールの蔭から双方共己れの好都合な点ばかりを発表しているようです。

ソ連も信用できませんが米, 日, 韓もひょっとすると同じ穴の事かも知れません。こう

した時にマスコミ関係のメンバーがいると臨機にそちらに明るいスピーカーの紹介が得られるかも知れません。

戸塚ヨットスクールの件でも教育関係或いは司法関係者の御意見を承り、多様の視点から理解を深める事が肝要と存じます。10.12.には田中元首相に対するロッキード事件の判決があります。三権分立の埒外にありながら現代のモンスター第4権といわれるマスコミは世論を有罪一色に塗り潰して居り国民も又判決の前にそれを容認する傾向にあります。

私には戦前の大政翼賛会時代のマスコミの姿勢に何か近いものを感じるのでありますが如何でしょう。『鬼畜米英』と叫んだペーパーがこぞって今日『田中金権』をキャンペーンしています。しかし田中金権の背後にあるものこそが大問題なのです。国民大衆にその指す彼方の『月』が判ってさえいればよいのですが、ややもすると大衆は月をみようと思わず『指の先』ばかりを見つめる事になります。

マスコミ出身のメンバーが居られたら、こうした時御意見をさくのに便利です。

ロータリーは多様の職層からなり様々の見方、又見識の持主の集合体であり、そのactivityが珍重される訳であります。その意味で当千種RCの未充填分野のメンバー増強に力を入れる所以であります。

◇田中尾張第一分区分代理挨拶

昨年の認証状伝達式に参上して以来、はや一周年を無事に迎えられ誠にありがとうございます。

本日は10月4日のガバナー公式訪問の前準備ということで伺った訳でございますが、さきほど会長、幹事さんといろいろお話させていただきました。貴クラブは平均年齢50で若さあふれるフレッシュなクラブとお見受けしましたことガバナーに報告させていただきます。新しい壺に新しい酒を入れる心づもりで、今後も活躍されるよう期待しております。

奥澤ガバナーは親しみ深いとても良い方ですから、どうぞ安心して準備を進めて頂きますようお願いいたします。

◇講演

講演 “絵馬”

伊勢絵馬師 安田 識人 氏
(紹介者 菅原君)

私は絵馬師としてこの仕事を始めて20年になります。ふるさとの小さな社殿の古い絵馬が私に興味をもたせました。小さな古いその絵馬のすばらしい筆の運び。力いっぱい画



いた絵馬には、奉納する人の厳しい現実、岐路に立った人間の重く大きな堪え難い断面を垣間見るような気持ちで強い感銘を受けました。絵馬とはもともと自分の願いをかなえてもらうべく、生きた馬を神社に奉納し、祈願するのが本来ですが、生きた馬ではエサのこと、面倒をみることなどが大変であり、絵馬に他の品物をつけ奉納するようになったといわれます。そして、何故それが馬であり、絵馬となったかということです。これはその願いを献上した馬に乗せて是非運んできて下さいという現代的に言えば車をさし向けたということです。当時の下積の庶民には馬を献上する力とはもとより、字を読み書きする力はありません。それらの人々の生活のよろこびや悲しみ、苦しみ、悩みは字に表現することはできなくても、その物を見て写すことはできました。それぞれの時代を考察することのできる絵馬が、全国各地の風俗、習慣を如実に物語るように残っています。絵馬祈願することとは願いが必ず叶えられるということをも自分自身にいい聞かせるということでもあります。病気を治して下さいという時には、この病気は必ず治るのだ。神様、私は治るために最善の努力をしますから足りないところを援助加護して下さいということです。努力をしますという自戒の意味がそこにあります。苦しみの後に楽ありということばがありますが、人事を尽してこそ願いは成就されるわけです。絵馬というのはもともと神社やお寺さん自身が作られるのが本筋です。いろんな事情で私が代理で作らせていただいています。私はその心を大切に、絵馬祈願をされる真剣な人々のため入魂の絵馬をつくり続けています。(文責菅原)

◇次回例会(9月27日)

卓話 “生保セールスマンの実態”
会員 手島 茂明 君

◇次々回例会(10月4日)

ガバナー公式訪問
奥澤 俊一 ガバナー 講話